

川越高等学校ワークショップ

報 告 書

令和 8 年 1 月

川 越 町

目 次

I 川越高等学校ワークショップに向けた企画	1
II 川越高等学校ワークショップの開催記録	3
III 川越高等学校ワークショップのまとめ	18

Ⅰ 川越高等学校ワークショップに向けた企画

1. 目的

第7次川越町総合計画後期基本計画及び第3期川越町総合戦略の策定に向けて、若者の目線、若者ならではの発想で、川越町の強みをさらに強く、弱みを補うための提案、若者にとって暮らしたいまち、働きたいまちにするために、高校生自らが取り組むことができるアイデアなどを把握することを目的に、川越高等学校の生徒会を対象にしたワークショップを開催した。

2. 開催概要

- ①期 間：令和7年11月～12月
- ②日 程：放課後（1時間半程度）
- ③会 場：川越高等学校
- ④人 数：生徒会（1～2年生 10人）
- ⑤内 容：

その1 川越町の魅力・資源の把握

- 川越町の自慢、おすすめスポット・魅力を把握する。

その2 川越町の現状把握

- 町職員等による川越町の現状や将来予測などの説明

その3 グループワーク（ワークショップ）

- まちの資源とまちの課題を考える。

- 地域課題解決型のビジネスアイデアを考える。

（ビジネスアイデア、事業計画、体制、費用、効果など）

その4 プрезентーションの検討

- 町長、幹部職員などへのプレゼン内容を考える。

3. スケジュール

回	日程	プログラム	会場
第1回	11月11日 (火曜日) 16:00~17:30	①アイスブレイク(川越町自慢) ②川越町のまちの概況説明(現状と将来予測) ③まちの課題とビジネスプランの検討	高校
第2回	12月5日 (金曜日) 16:00~17:30	①ビジネスプランの検討 【検討内容】 その1 プラン内容の確認・調整 その2 各プランの優先順位と実施時期、連携体制(各プランの実現可能性、実践計画(いつ・誰と)) その3 必要な費用(特に1年目の活動費) その4 広報戦略 (SNS、地域メディア、学校内など) その5 リスクと対応策(天候、事故、参加者不足、資金不足など、各種のトラブルに備えた対応マニュアルづくり) その6 財源確保の方法 その7 プランの実施による効果・成果 その8 町長へのプレゼン内容・発表方法の確認	高校
第3回 【追加】	12月18日 (木曜日) 13:30~15:00	①ビジネスプランの検討 (延長戦) 【検討内容】 その1 これまでに考えてきた内容をもとに、改めてビジネスプランを考え、まとめよう！ その2 町長へのプレゼンに向けた発表方法の内容、役割分担などを考えよう	高校
第4回	1月14日 (水曜日) 16:00~17:00	①町長等へのプレゼン ②意見交換	役場

II 川越高等学校ワークショップの開催記録

1. 第1回 川越高等学校ワークショップ

第1回 高校生が取り組めるビジネスプランを考えよう！

日 時 :令和7年11月11日(火曜日) 16:00~17:30

場 所 :川越高等学校 2階 教室

【プログラム】

16:00

① 開会

- ・主催者 開会あいさつ
- ・趣旨及びプログラムの説明



16:05

② アイスブレイク ~川越町自慢！~

- ・川越町自慢～おすすめのスポットや魅力は？

16:20

③ 川越町の現状と将来予想(説明)

16:30

④ まちの課題とビジネスプランの検討

～3つのグループに分かれて検討～

その1:まちの課題を見つけよう！

- ・通学していて気づくこと、困っていることは何？

その2:まちの資源を考えよう！

- ・まちの魅力、使えそうな場所・人・モノをリストアップ！

その3:ビジネスアイデアを考えよう！

- ・まちの課題と資源をもとにアイデアを考える！

17:15

⑤ 発表！

17:25

⑥ まとめ&次回に向けて

【17:30 終了】

川越町自慢！

川越町のおすすめスポット、自慢できる場所、よく行くお店など・・・・

川越町のおすすめスポットなど	その理由
三重県立川越高等学校	<ul style="list-style-type: none"> 立地が良い。子どもが集まる。成績がちょうどいい。
ラウンドワン	<ul style="list-style-type: none"> その場所だけで1日遊べる。しかも安い。
ラウンドワン	<ul style="list-style-type: none"> 自分の祖母がよく通っている場所だから。
火力発電所の隣にあるプール ラウンドワン、ラーメン横綱	<ul style="list-style-type: none"> 陸上の自主練でプールを使っている。火力発電の力を上手く使っているから。 友達とカラオケ、スポーツチャをする。 横綱のラーメンが美味しい。替え玉が安い。
見渡す限りの田園風景が広がっている。 ⇒山や森、つまり自然豊かでもある。	<ul style="list-style-type: none"> 季節の変化を敏感に感じることができ、それぞれの景色が美しく映る。
伊勢朝日駅前のイルミネーション	<ul style="list-style-type: none"> 寒い冬、疲れた帰り道にイルミネーションを見ると温かい気持ちになるから。
川（朝明川等）	<ul style="list-style-type: none"> 部活をする時によく行く。きれいな川で魚もよく棲んでいて実験に適している。
水路に魚がいたり、野生の生き物が多い	<ul style="list-style-type: none"> 生き物に触れる機会があると落ち着く。童心を思い出せる。
朝明川近くの道沿い お祭りや町全体で運動会があること	<ul style="list-style-type: none"> 春になると桜が咲くから。 地域の人同士の交流⇒活発



まちの課題とビジネスプランの検討

1. まちの課題と資源

(1) まちの課題

- ・川越町は「子育て世代や若者の人口流出」、「防災対策」、「交通安全対策」、「空き家の増加・放置」などの課題があり、これにより、まちの活力が低下しています。

(2) まちの資源

- ・川などの自然資源が地域の魅力となっています。
- ・神社や寺、東海道などの歴史的資源が地域の文化的価値を高めています。
- ・商業施設、飲食店などがあります。

2. まちづくりの方針

- ・地域資源を活用しながら、地域の課題解決に取り組み、持続可能なまちの発展を目指します。

3. 高校生が中心となって取り組むビジネスプラン

その1：空き家活用『みんなのリビング』の運営

【ターゲット】

- ◆小・中・高校生、高齢者など

【プラン内容】

- 地域の空き家を清掃やリノベーションします。
- 空き家を活用し、中高生の学習スペースを確保しつつ、子どもへの学習支援、高齢者向けスマホ教室、ラジオ体操など、老若男女が集う交流の場、健康づくりの場を創出し、地域のつながりを強化します。
- 起業をしたい人への空き家を1日貸し出しますなど、チャレンジショップの場として活用します。

その2：自然共生型の遊び場カフェの運営

【ターゲット】

- ◆子育て中の親子

【プラン内容】

- 川沿いの既存施設や空き家等を活用しながらテラスや広場を作り、子連れの家族が子どもを遊ばせながらくつろぎ、親同士が交流できる、自然と共生できる空間を作ります。
- テラスでは地元食材を使い、自然を感じられるカフェを運営します。
- 広場で子ども達が遊べる道具等の貸出を行います。

【その3：ご朱印ラリー+レンタサイクルの実施】

【ターゲット】

◆町内外の若者

【プラン内容】

- 町内の神社や寺を巡るご朱印ラリーとレンタサイクルを組み合わせた歴史探訪観光ツアーを企画・運営します。
- 若者の歴史への関心を高めつつ、観光促進、健康増進につなげます。

【その4：高校生マーケット＆商品開発】

【ターゲット】

◆高校生、町内外の老若男女

【プラン内容】

- 旧商店街等で、屋台などが出店する高校生マーケットを企画し、若者が起業体験（雑貨制作、スイーツ販売、バザーなど）できるチャレンジの場（チャレンジショップ）とします。
- 「ゴエゴエ」をまちのキャラクターにしつつ、このキャラクターでオリジナルグッズなどの商品開発や販売などを行い、賑わいと経済の活性化を目指します。

【各グループで検討したビジネスプラン案 ①】

高校生が取り組めるビジネスプラン！

③ビジネスプラン

～高校生×まちの課題×まちの資源を活用した取組を考えよう！～

高校生が取り組むビジネスプラン案	
テーマ・ タイトル	自然と共生するカフェ
どんな課題を 解決したい？	・0～4歳、30～34歳の人口流出の抑制
ターゲット (対象)	子育て世代
	<p>【いつ、どこで、何をするか？…】</p> <p>○カフェと公園をつなげた商業施設を作る。 ・土足で踏み入ることができる感じの場所、ログハウスのような建物、テラス席みたいな場</p> <p>・子どもの面倒を見てもらえ、親は鞄でリラックスできる</p> <p>・手が空いている高齢者の手を借りて、子どもとの交流の場を設けるのも良い。</p> <p>・カフェのメニューは川越の特産品(川の水を利用したコーヒーなど)</p>
	どんなビジネスを考える か？ (取組内容)
	その他 (収益性、持続可能性のための工夫 は？)

① まちの課題

●0～4歳、30～34歳の人口流出

＜人口が流出している要因＞

子育てができる環境整えられない。

⇒子どもが遊べる公園などのお金を使わずに遊べる場所が少ない。

⇒塾力がない。

●町おこし、イベント

② まちの資源

●自然

【各グループで検討したビジネスプラン案 ②】

高校生が取り組めるビジネスプラン！

① まちの課題

- 防災：主に津波。
- 住民が多くなり、交通量も多くなって危険。
- 空き家などで低木の処理ができない。
- 固い怪我等の店や職場が少ない（商店街が老廃）。

③ ビジネスプラン

～高校生×まちの課題×まちの資源を活用した取組を考えよう！～

高校生が取り組むビジネスプラン案	
テーマ・ タイトル	・店や職場が少ない、 ・空き家 ・交通事故の減少
どんな課題を 解決したい？	【いつ、どこで、何をするか？…】 ○昔あつた廢れた商店街で、高校生が行う店を作る ○ゴエゴエグッズを制作して売る
ターゲット (対象)	どんなビジネス を考える か？ (取組内容)
その他 (収益性、持 続可能性のた めの工夫 は？)	

② まちの資源

- ゴエゴエ
- !!

高校生が取り組めるビジネスプラン！

① まちの課題

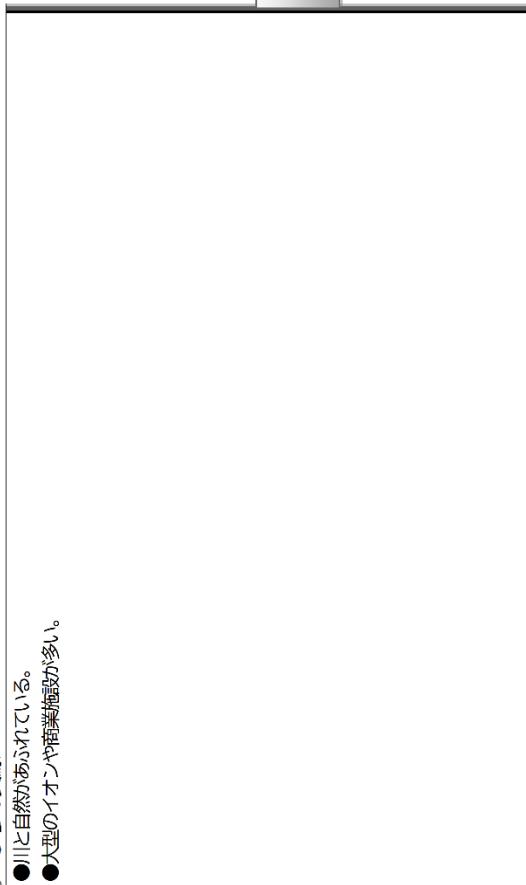
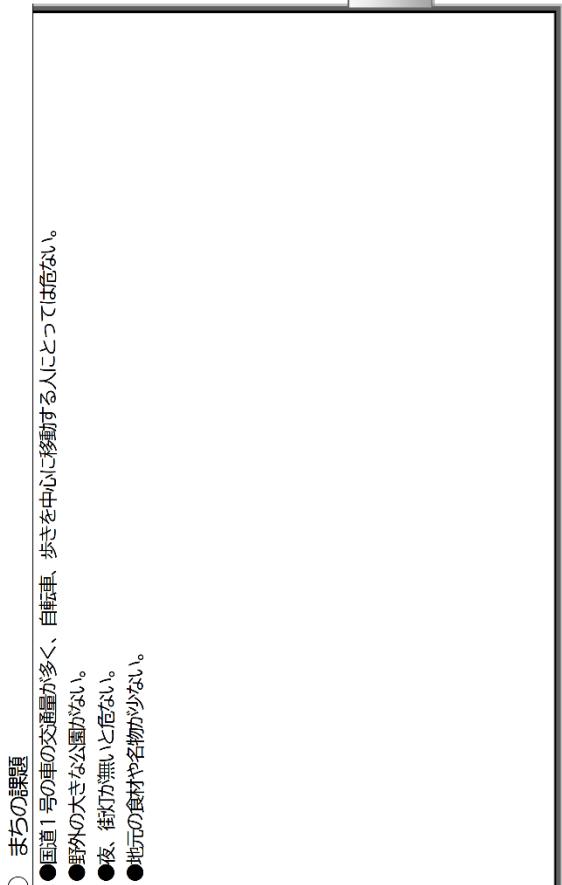
- 国道1号の車の交通量が多く、自転車、歩きを中心に行動する人にとっては危ない。
- 野外の大好きな公園がない。
- 友、街灯が無いと危ない。
- 地元の食材や名物が少ない。

③ ビジネスプラン

～高校生×まちの課題×まちの資源を活用した取組を考えよう！～

高校生が取り組むビジネスプラン案

自然を活かした人々の交流施設 ～いすれは町のシンボルへ！	
テーマ・ タイトル	・老若男女の色々な世代が交流てきて、精神面の健康改善
どんな課題を 解決したい？	0～4歳などの子どもから 65歳以上の高齢者まで
ターゲット (対象)	【いつ、どこで、何をするか？…】 〇年中 〇川が見える場所
どんなビジネス を考える か？ (取組内容)	〇高齢者のスマート教室(屋内) ・全年齢対象の生活講座⇒収益ゲット 〇自然が目の前にある大型公園 ・健康遊具や広場 ・遊び道具のレンタル⇒収益ゲット ・屋内&屋外 槍合
その他 (収益性、持 続可能性のた めの工夫 は？)	〇名古屋など周辺の都市圏に川越町の新しい魅力をPRして人々を誘致して収 入をアップ 〇SNS活動 〇テレビ出演



高校生が取り組めるビジネスプラン！

- ① まちの課題
- 自動車、自転車の通りが多く、歩行者が危険な思いをする。
⇒バスが少ない。
⇒信号付きの交差点も少ない。
 - 駐輪場が狭く、ビンダーが停めにくいい。
 - 地元の食材や名物が少ない。
 - 夜が暗い。

② まちの資源

- 神社、寺が多い。
- 東海道が通っている。
- 自然が一杯。

③ビジネスプラン

～高校生×まちの課題×まちの資源を活用した取組を考えよう！～

高校生が取り組むビジネスプラン案 ④】	
テーマ・ タイトル	川越神社ご朱印ラリー
どんな課題を 解決したい？	<p>・せっかく数多くの神社や寺が軒を連ねている。 ・川越町のご朱印を集めないのではもつたない。(神社に参拝する人が少ない)</p>
ターゲット (対象)	<p>老若男女(集めるのが好きな人?)</p> <p>【いつ、どこで、何をするか?...】</p> <p>○現在、町内の多くの神社はご朱印をその場で受け取れない制度となつている。 ⇒その場で受け取れるように神主さんを常駐させる。(長期休暇だけでも)</p> <p>○レンタサイクルを運営し、利益を上げつつ、自然の中を気持ちよく駆け抜けてしまい。</p>
その他	<p>○ご朱印を全部集め終わったら、景品の授与とか？</p> <p>(収益性、持続可能性のための工夫は？)</p>

高校生が取り組めるビジネスプラン！

① まちの課題

- コンビニが少ない。
- 駅少ない。
- バス少ない。
- 道幅い。
- 公園少い。
- 地元の食事や名物が少ない、(知らない)

③ ビジネスプラン

～高校生×まちの課題×まちの資源を活用した取組を考えよう！～

高校生が取り組むビジネスプラン案 ⑤】	
テーマ・ タイトル	高校生が取り組むビジネスプラン案
どんな課題を 解決したい？	<ul style="list-style-type: none"> ・交流の場が少ない、 ・子どもの居場所づくり ・空き家 ・店少ない ・就業の場や機会 ・創業・起業支援
ターゲット (対象)	<p>高校生 学生</p> <p>【いつ、どこで、何をするか？…】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○長期休みにビジネス体験をする。 ○その後、学生は勉強、相談⇒教え合い(高校生⇒中学生⇒小学生へ教える) ○夏休みに居場所がない人に ○みんなで一つの物を作つたりして、バザーをする。(最終日に) ○地域のつながりを作る。 <p>どんなビジネスを考える か？ (取組内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○店を出したい人は多いけれど、どこから始めたらしいのかがわからない。 ⇒安く空き家を貸し出す。(日付ごとに店が変わる) ○空き家をリノベーションする ○1日だけ
その他	(収益性、持続可能性のための工夫 は？)

② まちの資源
<ul style="list-style-type: none"> ●自然きれい、一杯 ●空がよく見える ●少し走れば色々ある ●ごはん屋さんたくさん ●川越高校 ●イオンや商業施設

② まちの資源
<ul style="list-style-type: none"> ●自然きれい、一杯 ●空がよく見える ●少し走れば色々ある ●ごはん屋さんたくさん ●川越高校 ●イオンや商業施設

高校生が取り組めるビジネスプラン！

① まちの課題

③ビジネスプラン

～高校生×まちの課題×まちの資源を活用した取組を考えよう！～

高校生が取り組むビジネスプラン案 ⑥】	
テーマ・ タイトル	空き家リノベで「みんなのリビングに」
どんな課題を 解決したい？	・高齢化⇒空き家急増
ターゲット (対象)	町内の中高生 高齢者 子育て世代
どんなビジネスを考え るか？ (取組内容)	<p>【いつ、どこで、何をするか？…】</p> <p>○空き家をリノベして再生する。 ⇒幅広い世代の居場所に</p> <p>○高校生を中心で地域の人と協働で運営する ・放課後学習スペース(子ども向けサポートも) ・高齢者向けのスマート教室 ・川越カフェ(特産品や農作物を使って)</p>
その他 (収益性、持 続可能性のた めの工夫 は？)	<p>○川越カフェの売上を維持費に。 ○SNSで広告活動⇒川越町の魅力PR ○色々な世代の関係人口を増やす ○町の補助金、ふるさと納税の地域枠の活用</p>

② まちの資源

2. 第2回 川越高等学校ワークショップ

第2回 高校生が取り組むビジネスプランをまとめよう！

日 時：令和7年12月5日(金曜日) 16:00～17:30

場 所：川越高等学校 2階 教室

【プログラム】

16:00	① 開会 ・本日のプログラムの説明	
16:05	② 前回の振り返り	
16:10	③ ビジネスプランの検討 ・ビジネスプランのブラッシュアップ！ ※前回のアイデアに加え、これまでに考えてきた内容をもとに、改めてビジネスプランを考えよう！ その1 プラン内容の確認・調整 その2 各プランの優先順位と実施時期、連携体制 (各プランの実現可能性、実践計画(いつ・誰と)) その3 必要な費用(特に1年目の活動費) その4 広報戦略(SNS、地域メディア、学校内など) その5 リスクと対応策(天候、事故、参加者不足、資金不足など、各種のトラブルに備えた対応マニュアルづくり) その6 財源確保の方法 その7 プランの実施による効果・成果 その8 町長へのプレゼン内容・発表方法の確認	
16:50	④ 成果報告会の準備 ・プレゼンシートにビジネスプランをまとめよう！ ・発表の練習	
17:10	⑤ 成果報告会の練習 & 講評	
17:25	⑥ まとめ&成果報告会に向けて	
		【17:30 終了】

«今後の検討項目»

1. 高校生による実践活動計画

(1) 1年目の活動

①高校生実行委員会の設立

- ・川越高校の生徒会を中心に町内外の高校生の中からボランティアメンバーを集め、役割分担しながら、企画や広報、安全管理などを担う実行委員会を設立します。

②空き家の発掘、整備

- ・地域の空き家を調査し、活用可能な物件を選定、空き家物件の提供者の募集などを実施します。
- ・適当な空き家が見つかれば、清掃やDIYでのリノベーションなどを実施し、交流拠点として活用できるように準備を進めます。

③イベントによる社会実験

- ・ご朱印ラリーイベントやマーケット（屋台の出店（ポップアップカフェ））などのイベントを企画・開催し、イベント参加者のニーズ、顧客ニーズを把握するとともに、運営ノウハウを蓄積します。
- ・イベント運営、出店などに協力してくれる人を募集します。

※**成果指標**：イベント参加者数は〇〇人

※**成果指標**：収益額は〇〇円

④SNSでの情報発信

- ・高校生による空き家の改修、イベント開催などを、SNSを活用して発信し、誘客と運営支援者を募ります。

※**成果指標**：SNSフォロワー数は〇〇人

(2) 2年目の活動

- ・空き家を活用したカフェの定期開催
- ・マーケットの定期開催
- ・イベントの公式化 など

(3) 3年目以降の活動

- ・常設化
- ・イベントの多様化
- ・多拠点への展開 など

2. 1年目の活動費の算定

(1) 空き家の清掃と備品購入

- ・空き家を清掃するための道具、カフェに向けた備品の購入
- ・安全な環境を整えるために行うリノベーション費用
- ・空き家の賃料

(2) イベントの試行実施

- ・ご朱印ラリーイベントに関わる印刷物（チラシ、スタンプラリー用紙）、のぼり、景品
- ・マーケットを実施するためのテントのレンタル、食材、衛生用品の購入

(3) 広告・保険加入

- ・SNS広告、チラシ印刷
- ・イベント保険、その他安全対策

3. 連携・協力体制づくり

(1) 高校生実行委員会

- ・高校生の世代交代・引継ぎ、他校との連携なども含め、運営体制を強化します。

(2) 川越高校との連携

- ・川越高校は後援と休日活動などの許可を行うなど、高校生が円滑に活動を行えるようにサポートします。

(3) 地域・団体との連携

- ・役場、自治会、店舗、商工会、ボランティア団体など、地域の多様な団体や地域住民と連携します。

(4) メディアとの連携

- ・参加者の確保や協賛金の確保に向けた宣伝のため、地域メディアと連携します。

4. 広報戦略

- ・活動の認知度向上、活動の価値向上、仲間集め・参加者集め、関係者との信頼関係の構築、支援者の確保などに向けた戦略を検討

(1) SNSの活用戦略

- ・若者向けに、TikTokへの活動プロモーション動画の制作と発信。活動の告知、参加者募集、ライブ配信などを実施

(2) 地域メディアの活用戦略

- ・ケーブルテレビ『CCNet』を活用し、プロジェクトを企画から実施までをドキュメンタリーでの制作・依頼
- ・参加者、支援者の募集、開催結果・成果の共有のために、広く新聞、ラジオ、テレビで広報してもらえるように情報提供

(3) 学内、他学校への広報

- ・活動への共感を得て、活動メンバーを増やすための広報

5. 安全対策

- ・食品衛生管理は保健所の指導のもとに実施します。
- ・空き家活用、イベントなどの各種許認可は自治体の指導のもとに実施します。
- ・当日の事故や怪我などに備え、イベント保険・レンタサイクル保険に加入します。

6. 財源の確保

- ・カフェ、グッズ等の売上、イベント参加費、レンタサイクル・レンタル遊具の利用料、マーケット出店料などの多様な収益源を確保します。
- ・町等からの補助金
- ・ふるさと納税の活用（寄附の使途に追加）
- ・クラウドファンディングなど、支援者からの資金調達
- ・チラシへの企業広告など、民間からの協賛金

7. 実践活動による成果

- ・子ども、子育て世代、中高生の居場所を確保できます。
- ・地域住民の交流が活発になります。
- ・空き家活用により、地域の景観が改善されます。
- ・まちの歴史を学び、再発見することでシビックプライドが醸成されます。
- ・まちの資源を巡る観光促進により、地域の魅力が向上し、地域の経済も活性化します。
- ・広報などの情報発信により、町外での町の認知度が向上します。
- ・高校生などの次世代が活躍する町として、都市ブランドが向上します。
- ・高校生が地域と協力して実践的に学び、挑戦することで、次代を担う人材の育成につながります。



3. 第3回 川越高等学校ワークショップ

第2回 高校生が取り組むビジネスプランをまとめよう！

日 時：令和7年12月18日(木曜日) 13:30～15:00

場 所：川越高等学校 2階 教室

【プログラム】

13:30	① 開会 ・本日のプログラムの説明
13:35	② ビジネスプランの検討(続き) ・ビジネスプランのブラッシュアップ！ その1 これまでに考えてきた内容をもとに、改めてビジネスプランを考え、まとめよう！ その2 町長へのプレゼンに向けた発表方法の内容、役割分担などを考えよう
14:50	③ 成果報告会の練習＆講評
14:55	④ まとめ＆成果報告会に向けて
	【15:00 終了】



III 川越高等学校ワークショップのまとめ

1. 川越高等学校ワークショップ 成果報告会

川越中学校・川越高等学校ワークショップ成果報告会

日 時 :令和8年1月14日(水曜日) 16:00~17:00

場 所 :川越町役場 2階 大会議室

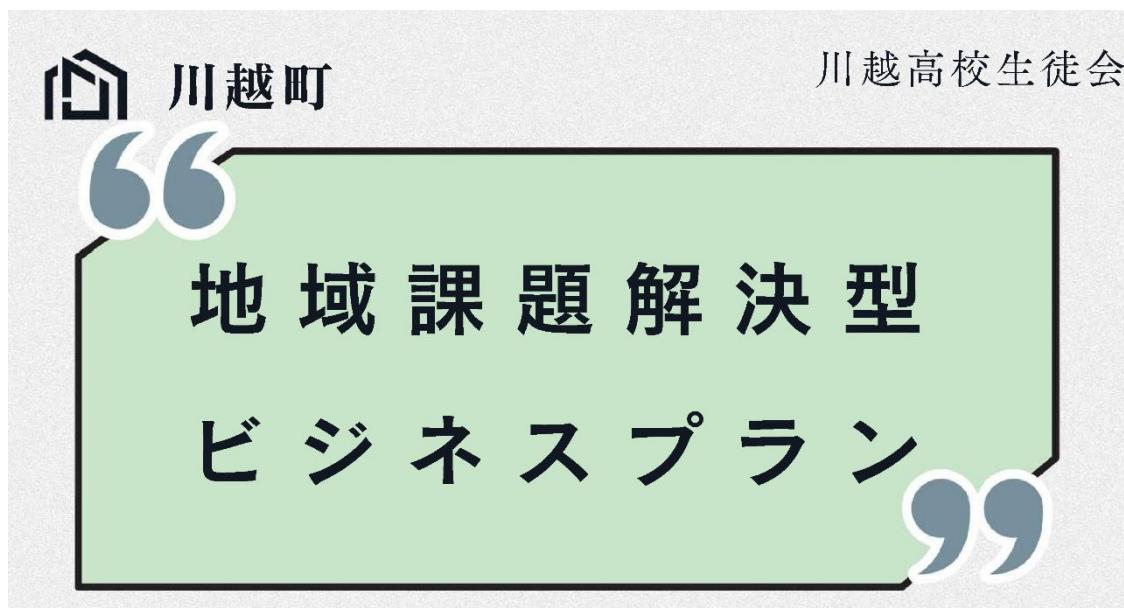
【本日のプログラム】

16:00 ① 成果発表

16:30 ② 質疑応答

16:50 ③ 記念撮影





目次

01 まちの課題と資源	05 連携体制
02 ビジネスプラン	06 広報戦略
03 実践計画	07 安全対策と効果予測
04 一年目の活動費	08 財源の確保

今後の展望

01. まちの課題と資源

総世帯数(棒グラフ)
単独世帯(折れ線グラフ)

- 若年層の人口流出
- 他の年齢層との交流の乏しさ

年	世帯数
2005	4800
2010	5500
2015	5800
2020	6200

年	世帯数
2005	1800
2010	2000
2015	2200
2020	2800

02. ビジネスプラン

① 空き家を利用したカフェスペース



- レトロな雰囲気に改築
- お手頃価格
- Wi-Fi、電源完備
- 漫画・雑誌も

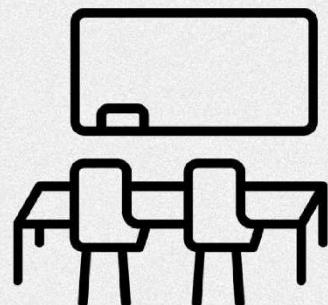


02. ビジネスプラン

② 学習できる「まなびスペース」



- 快適な自習スペース
- 授業ができる
- 定期的に行う勉強会
- 長期休暇も使える

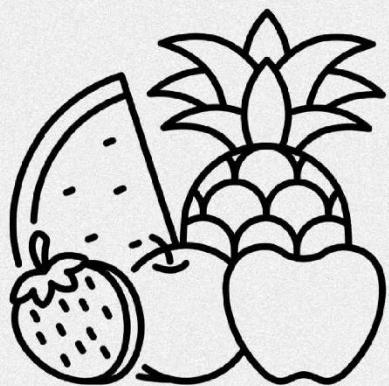


02. ビジネスプラン

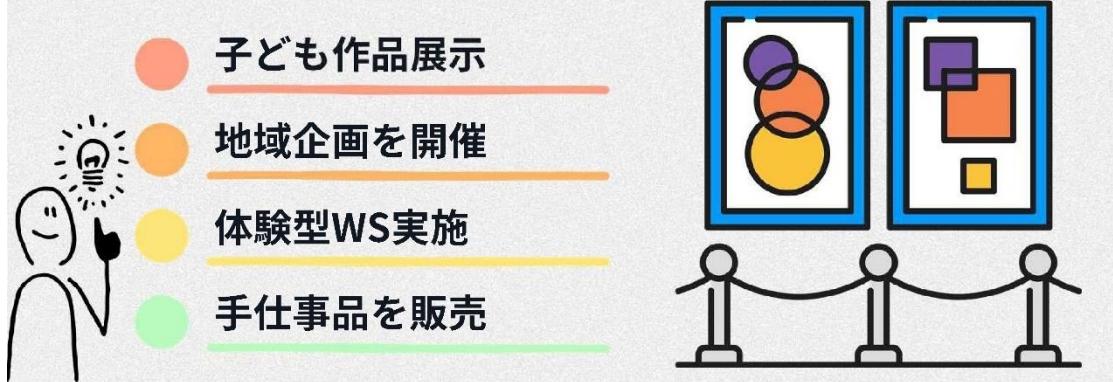
③ 地産地消 × 農家と協力



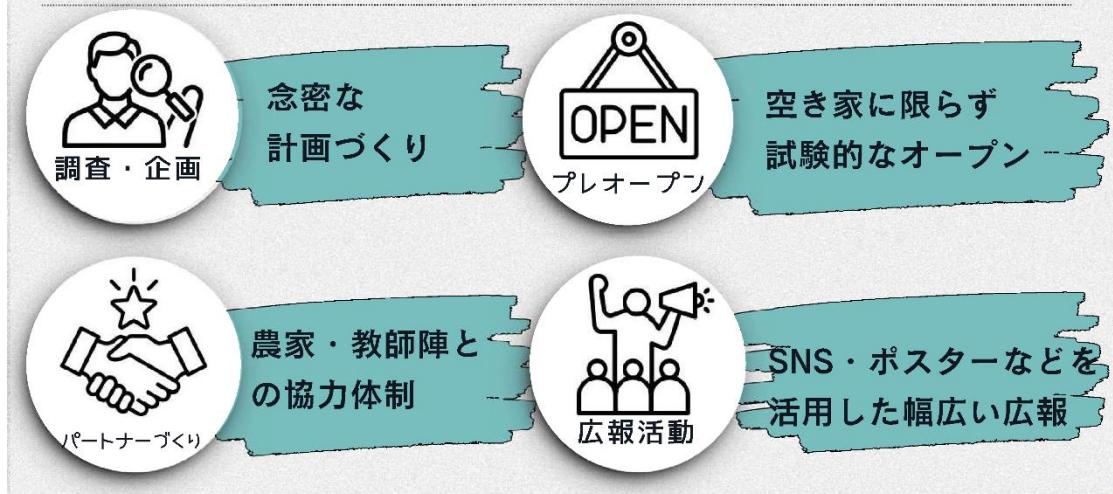
- 農家野菜をメニュー化
- 農家紹介の展示
- 収穫体験と食育
- 加工品の委託販売



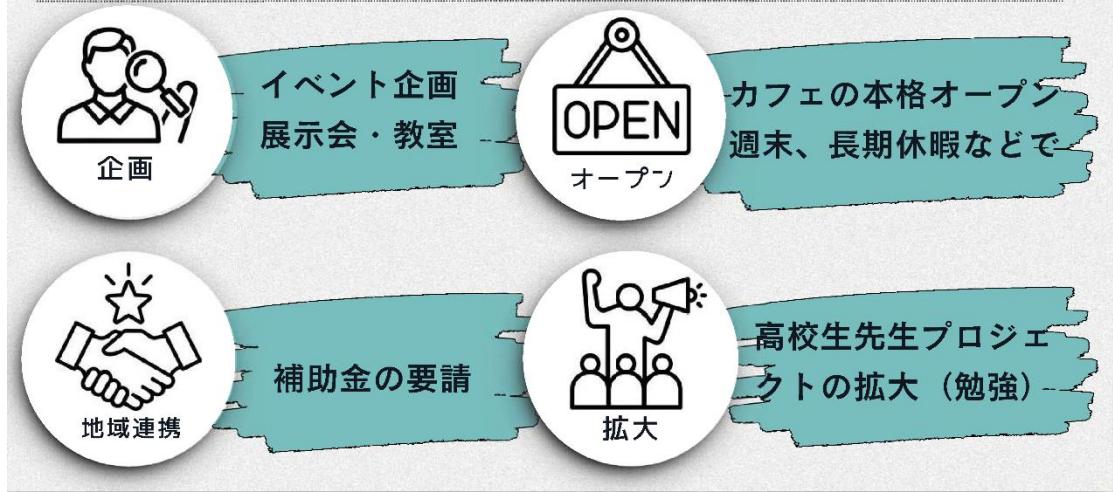
02. ビジネスプラン ④ 地域参加型の展示・活動



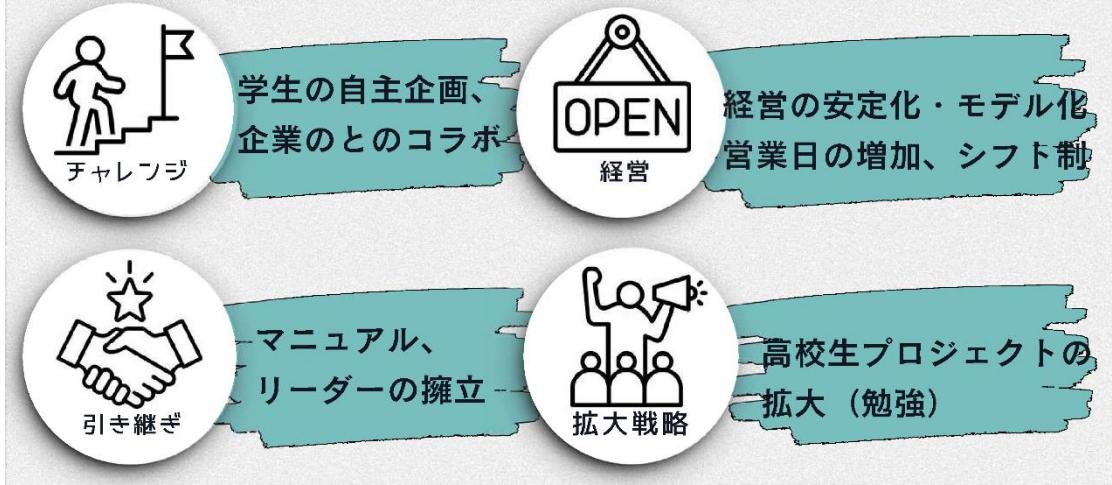
03. 実践計画 1年目



03. 実践計画 2年目



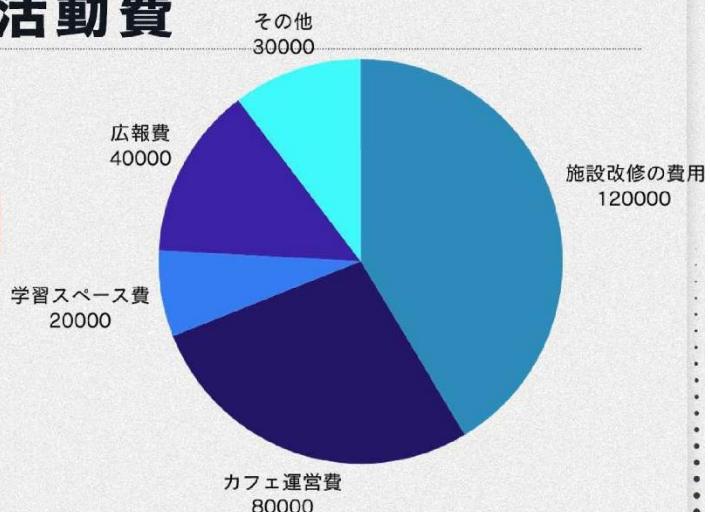
03. 実践計画 3年目



04. 1年目の活動費 合計

290,000円

※空き家を確保していることを
前提とする予算となっています



05. 連携体制



06. 広報戦略

町内を中心とした幅広い広報活動を行う

SNS

Instagramの活用

放送

校内放送、町内放送、

CCネットなどのメディア取材

ポスター

ポスター掲示、

回覧板でのチラシ配布

07. 安全対策と効果予測

ライフライン

水漏れやガス漏れ、漏電などの
不良確認

衛生

施設内の清掃
手洗いの徹底

備品

器具の破損 人体への影響の確認
配置による安全性

食材

食品の鮮度の確認
食品表示の記載

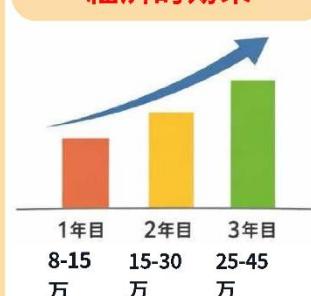
07. 安全対策と効果予測

地域への効果



空き家活用
空き家が管理される
町内での関わりが増える

経済的效果



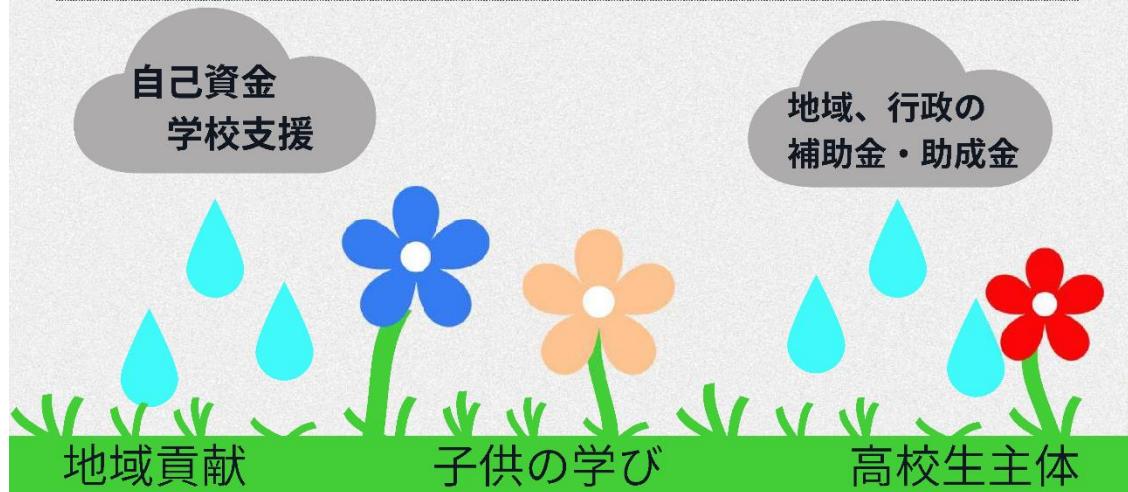
教育・将来効果



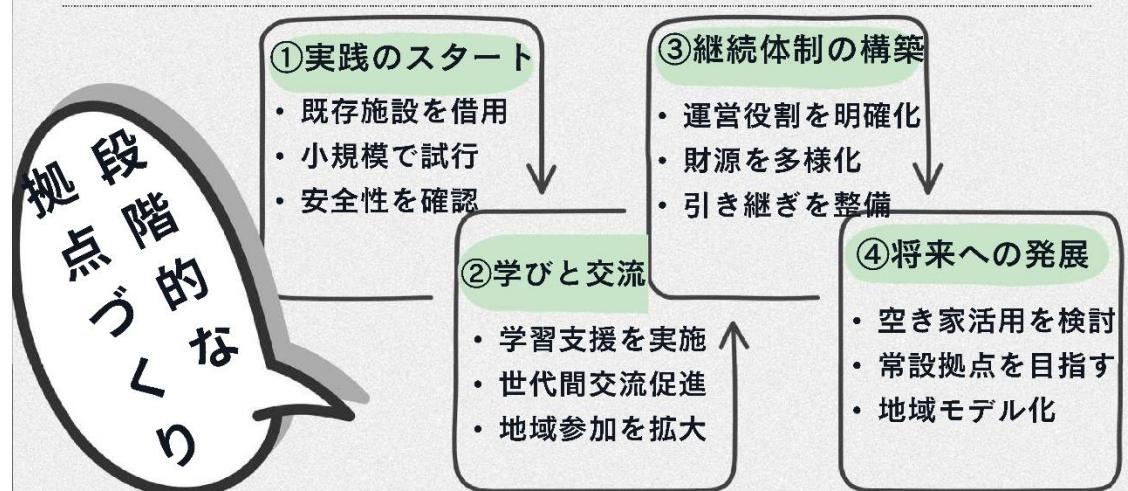
新たな経験を増やせる
地域活性化への基盤形成

小規模かつ段階的に実施し、効果を検証しながら持続可能性を高める

08. 財源の確保



今後の展望



ご清聴、ありがとうございました。

【質疑内容】

《質問 ①》

- ・非常にわかりやすく素晴らしい提案でした。
- ・具体的にお聞きしたいことは、1年目の活動費について、金額を細かく算出しているが、これはどうやって算出したのか？

《回答 ①》

- ・カフェを経営するにあたって、初期費用をネットなどで色々と調べ、それを基に施設を借りることも含めて自分たちで計算して積み上げた。

《質問 ②》

- ・まちの資源とあるが、この資源は空き家ということで良いのか？

《回答 ②》

- ・今は少ないが、今後増えていく空き家を資源として捉えた。
- ・なお、カフェを経営するにあたって、適当な空き家が見つかるまでには時間がかかると思われるため、それまでは川越町の施設を借り、そこを利用してカフェを行い、それが成功したら空き家へと展開していきたいと考えている。

《質問 ③》

- ・経済的効果についてはどのように考えたのか？

《回答 ③》

- ・経済効果については、それぞれ販売するもの、値段、予想される客数を、人口などをもとに想定して計算した。また、毎年の事業拡大なども考慮した部分を増加幅として予想して算出した。

《感想 ①》

- ・高校生が担い手となって地域団体や行政とも一緒に取り組んでいくことになるが、町の発展には皆さんの力が必要であるため、引き続きよろしくお願いしたい。特にこのプランは今後、もう少し詳しい事業計画が必要になってくるが、生徒会のメンバーは次年度になれば変わってしまう可能性があるため、今後、メンバーが変わっても実施できるようなことができる良い。

【さいごに】

西校長：中学生の皆さん、高校生の皆さん、本当にお疲れ様でした。一生懸命に考え、上手く堂々と発表していただいた。川越に住んでいることを活かした想いのこもった提案であった。高校生の提案はさすが高校生だなと思った。所々に数字が入ってわかりやすく、なおかつ具体的に取り組んでいけそうな提案であった。普段学校では、答えを求めるconi一生懸命に取り組んでいると思うが、私は数学の教師なので答えは一つであるが、今回のワークショップも含め、実際に社会へ出たら

このように色々な方法があって、どれが正解かもわからない。今回のこのような機会で色々と考え、提案書として形にしたことは非常に貴重な経験になったと思う。この経験をまた学校に戻ってからも活かしてほしいと思う。

城田町長：中学生の皆さんは生まれ育った川越町の思いをしっかりと伝えていただいたと思う。行政をやっていく中で他市町に負けないまちづくりを皆さん



と一緒にやっていきたいと思うので、今後も色々な意見を出していただけたらと思う。

また、川越高校の皆さんには長時間にわたって、ビジネスプランを実施に至るまで色々な角度から考えていただいた。町では現在、総合計画の後期基本計画の策定を進めているが、今回提案された実践的なビジネスプランが今後の川越町に大きく役立つと思うので、これからも皆さんとともに、町を良くするために取り組んでいけたらと思う。

最後に、就職の際には町への就職もよろしくお願ひしたい。

川越中学校・川越高校
ワークショップ成果報告会



《記念写真》